

令和5年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立船堀第二小学校

校長名 則岡 小織

名称:総合的な学習の時間

<b>学校の教育目標</b>	進んで学習する子ども 思いやりのある子ども じょうぶな子ども
----------------	--------------------------------------

**国が示す総合的な学習の時間の目標**

探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す。

**学校の総合的な学習の時間の目標**

- 1 地域の文化、自然、歴史、産業、人などを知り、地域や学校を大切に、課題を見つけて解決していく力を育てる。
- 2 自然環境やゴミ・リサイクルの問題を、体験活動を通して主体的に解決する力を育てる。
- 3 情報機器の基本操作に慣れ、情報を収集し活用する力を育てる。また、著作権や情報モラルを守る態度を育てる。
- 4 高齢者体験や、福祉施設でのボランティア活動・交流などを通して、コミュニケーション能力を高め、奉仕の精神を養う。
- 5 学んだことをまとめ、発表し、自己の成長に気づくとともに、自分なりに努力をする意欲と実践力を育てる。

**育てようとする資質や能力及び態度**

〈学習方法に関すること〉	
第3・4学年	第5・6学年
自ら課題を見つけ、情報を収集し、楽しみながら解決する。	自ら課題を見つけ、情報を分析し、見通しをもってよりよく解決する。
〈自分自身に関すること〉	
第3・4学年	第5・6学年
主体的な学習を通して、自らのできることを実践し、成長を振りかえようとする。	主体的な学習を通して、自己を振り返るとともに、将来に向けて、希望をもって実践していく。
〈他者や社会とのかかわりに関すること〉	
第3・4学年	第5・6学年
地域の人々とのかかわりを通して、地域への愛着をもつ。	地域の人々や社会への理解を深め、愛着を深める。

内 容	学習対象	学習事項
第3学年	地域の特色と産業 身近な自然環境と問題 情報の収集と活用	地域の文化・産業と、それを大切にする人々の努力 身近な環境問題に気づく 情報機器を活用しながら、基本操作に慣れる
第4学年	身近な自然環境と問題 自己や児童相互の成長 自分の気付きや思いの表現	身近な環境問題に対し、自分でできることを実践し保身に努める 自己と友達の成長に気付き、夢に向かい行動する 学んだことを整理し、分かりやすく表現する
第5学年	食をめぐる問題と、日本の農業や生産者 雪国の環境や生活、伝統文化 地域の特色と産業	食をめぐる問題や農業に従事する人々の努力を知る 雪国の文化・環境を調べ、体験し、継承する人の思いに触れる 地域の文化・産業と、それを大切にする人々の努力
第6学年	異学年との交流活動 日本の文化や風土 地域の高齢者や、福祉施設で働く人々 自己の成長と、それを支えてくれた周囲の人々	下級生とのコミュニケーションと、創造的な活動 日本の歴史と文化を学び、体験活動を通して愛国心を育てる 奉仕の心で、自分たちでできることを実践する 自己評価の力と、感謝の精神を養う

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年は地域中心の学習</li> <li>・4学年は環境中心の学習</li> <li>・5学年は社会科の学習や行事との関連を生かした課題を追求する。</li> <li>・6学年は異学年との交流や行事の中で、自らの実践課題を追求する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科との関連・発展</li> <li>・体験や、自らの気付きを大切にする</li> <li>・友達や地域の人々との交流を重視する</li> <li>・児童の課題意識を高め、継続させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合部会での計画の見直し</li> <li>・各教科領域との関連の重視</li> <li>・担任以外の教員による指導</li> <li>・地域の人材を活用した、学校応援団</li> <li>・地域の物的財産の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオ評価</li> <li>・児童による自己評価</li> <li>・指導と評価の一体化</li> <li>・複数の教員による多面的な評価</li> <li>・評価基準の設定と共通理解</li> <li>・授業分析による授業改善</li> </ul>